

普及活動情勢報告（令和元年 10 月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

いの町出前授業を開催 ショウガ博士になろう！

～栽培、貯蔵から輸送まで学ぶ～



ショウガ栽培について学ぶ児童

10月2日に川内小学校3、4年生12名を対象に、いの町特産品のショウガを知ってもらうため出前授業を開催しました。農業改良普及課は、主催のいの町や生産者、JA高知県伊野支所と連携し、ショウガの栽培や貯蔵、栄養等について説明したほか、児童と一緒にショウガの茎の長さや塊茎の重量測定も行いました。また、ショウガご飯のおにぎりも試食してもらいました。

児童らは「茎を切ってもショウガのにおいがする」「親ショウガからたくさんのショウガができるんだ」と驚いていました。

農業改良普及課は、今後も出前授業等を通じ、地域特産農産物の生産振興や食育の推進を図っていきます。

集落活動センター柳野 イタドリ栽培管理者が先進地を視察

～今の時期の適切な生育や栽培管理は？～



栽培について情報交換する参加者

いの町の集落活動センター柳野「イタドリ班」3名は、先進地である高知市鏡地区のイタドリほ場を視察し、今の時期の株齢別の標準的な生育やほ場管理の状況を確認しました。

農業改良普及課は、視察をコーディネートするとともに視察時の情報収集などを支援しました。

参加者は、株齢や時期別の追肥と除草程度など栽培管理について、生産者や普及指導員に熱心に質問するとともに、「これなら柳野地区の生育も問題ないね」と自信を持った様子でした。

農業改良普及課は、引き続き地域支援企画員や先進地関係者と連携し、集落活動センター柳野でのイタドリ栽培の定着を支援していきます。

いの町出前授業を開催 みんながナシ博士に認定！

～ナシの品種や特性、栽培方法などを学ぶ～



「新高梨」の説明に興味津々の児童

10月7日に伊野南小学校3年生31名を対象に、特産果樹である「新高梨」の出前授業を開催しました。農業改良普及課は、主催のいの町や生産者、JA高知県伊野支所と連携し、栽培方法やおいしい「新高梨」の見分け方などを説明したほか、実際に糖度計を用いて果実の糖度を測定した後、試食も行いました。

児童からは「農家さんが新高梨を苦労してつくっていることがわかったので、感謝して食べたいです」「ナシ博士の認定証をもらえてうれしかった」という声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も出前授業の取組みにより、小学生の農業への関心を高め、食育の推進を図っていきます。

山採りアセビ現地検討会を開催

～山採り花木継続出荷の仕組み作りに向けて～



規格について話を聞く関係者

9月27日に京都生花株式会社を招き、いの町吾北地区の「アセビ」群生地、山採りアセビの出荷を考えている地元企業、JA高知県、農業振興部、木材産業振興課などが参加し、出荷規格等について検討を行いました。

アセビは、生け花用の花材として近年注目されている花木です。

農業改良普及課は、花き類の出荷ノウハウを活かして、山採りアセビを商品として出荷・販売するための仕組み作りに取り組み始めており、今後も林業関係者などと連携し、山採り花木の産地作りをして支援していきます。

